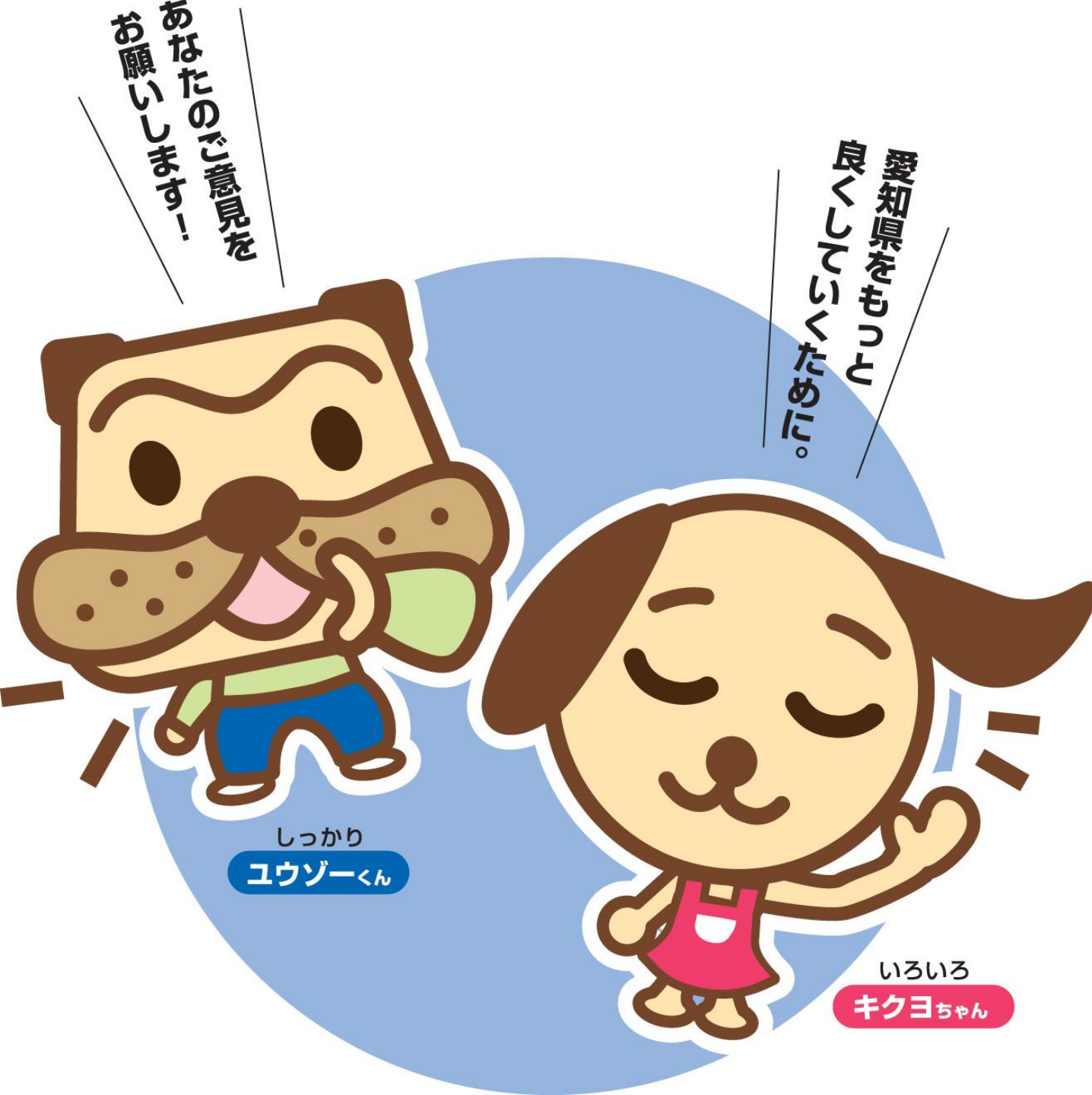




技能実習生 都道府県プロファイリング

愛知県

愛知県における多文化共生（県民文化部社会活動推進課多文化共生推進室 2018年10月24日資料より）

3 あいち多文化共生推進プラン

2008年から「あいち多文化共生推進プラン」を5年ごとに策定し、多文化共生社会づくりを実施

「あいち多文化共生推進プラン2022」（平成30年3月策定、第3次計画）

＜基本目標＞

多文化共生社会の形成による豊かで活力ある地域づくり

＜施策目標＞

I ライフサイクルに応じた継続的な支援

乳幼児期から老年期まで、ライフサイクルに応じた「支援のつながり」を目指す。

II 互いに支え合う共生関係づくり

外国人同士、外国人と日本人が、互いに支え合う「人と人とのつながり」を目指す。

III 外国人県民とともに暮らす地域への支援

外国人とともに暮らす地域を支援し、外国人と「地域とのつながり」を目指す。



日本語版のほか、ポルトガル語、中国語、フィリピン語（タガログ語）及び英語の各言語に翻訳

5 外国人が安心して暮らすための生活支援

「地域多文化コーディネーター」の育成

外国人県民の相談窓口となり、地域住民の円滑なコミュニケーションを支援する「地域多文化コーディネーター」の育成を目的に、研修会を実施

＜9/23開催 第1回育成研修（西尾市）＞



〔実施市及び実施回数〕

・岡崎市、豊田市、西尾市 9月から12月まで、各3回

〔参加者〕

・自治会、町内会役員など、地域活動に関わる方 各会場20名程度

〔内容〕

・地域に住む外国人の状況や先進地域の取組事例などを学び、自らの地域で実践するための講義やワークショップ

5 外国人が安心して暮らすための生活支援

多文化共生センター

愛知県国際交流協会が、「あいち国際プラザ」内に設置

外国人県民に対する生活情報の提供や、複雑な問題を抱える外国人に対する「多文化ソーシャルワーカー」による継続的な支援などを実施

〔相談件数〕（平成29年度実績、単位：件）

相談言語	情報提供	継続的支援	傾聴	翻訳・通訳	計
日本語	271	0	1	4	276
英語	32	0	1	4	37
ポルトガル語	166	3	0	37	206
スペイン語	71	0	1	6	78
中国語	4	1	0	2	7
フィリピン語／タガログ語	11	1	0	1	13
合計	555	5	3	54	617(504)

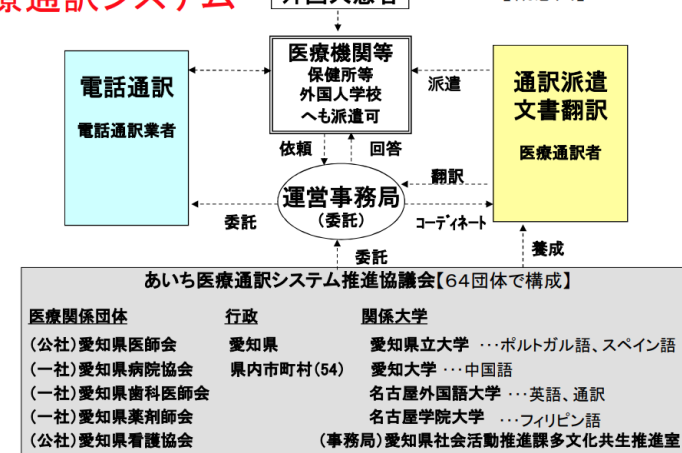
（ ）は、うち電話相談

5 外国人が安心して暮らすための生活支援

あいち医療通訳システム

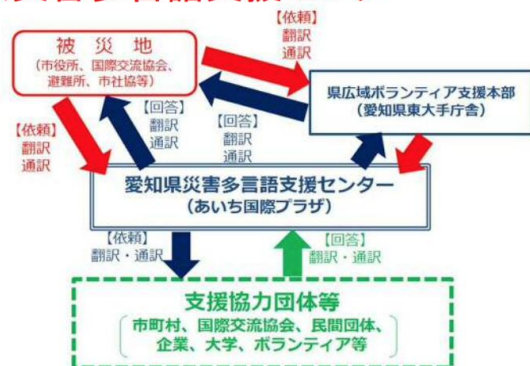
外国人患者

【概念図】



5 外国人が安心して暮らすための生活支援

愛知県災害多言語支援センター



【設置主体】
愛知県

【運営主体】
愛知県と愛知県国際交流協会の共同運営

【活動内容】
・多言語による災害情報の提供
・被災市町村の外国人相談対応等における、通訳及び翻訳並びに関係機関との連絡調整支援

開設基準

- (1) 県内に第3非常配備が発令されたとき。
- (2) 県内に第2非常配備警戒態勢が発令され、愛知県広域ボランティア支援本部の設置や県内市町村における避難所の設置等、市町村等が外国人県民に対し災害時支援を行う可能性があると判断したとき。

7 自治体間の連携

多文化共生推進協議会

1 設置目的

日系ブラジル人等が多数居住する県市が一致協力して、多文化共生社会の形成に向けて広域的な取組を進めることを目的として設置（平成16年3月）。

2 構成県市

群馬県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、名古屋市

3 協議会の主な役割

- ・効果的な施策を行うため、施策情報及び意見の交換
- ・連携することで効果が高まる事業の協働実施
- ・関連する法制度の理解を高め、創設・改正すべき点の検討

4 主な活動

毎年、国へ要請活動を実施

6 外国人が働きやすい環境の整備

「外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応を促進するための憲章」(平成20年1月)の理念の普及

各企業・事業所の担当者を対象に、岐阜県、三重県及び名古屋市との協働によるセミナーを開催。

<憲章の内容>

- 1 日本社会への適応促進
- 2 地域社会参画の機会確保
- 3 労働者の子どもに対する保護者としての責任
- 4 労働関係法規の遵守
- 5 法令遵守の観点から調達先や取引先を選定
- 6 社内、グループ企業、取引先への周知

<平成29年度憲章セミナーの様子>



愛知県は、全国知事会の 「新たな外国人材の受入れプロジェクトチーム」のリーダー

Japanese English Chinese Korean

全国知事会
National Governors' Association

組織案内・連絡先
会員ログイン
IDとパスワードが必要です

サイト内検索
ENHANCED BY Google
検索

文字サイズ
小 中 大

背景色変更
黒 青 白

ホーム 全国知事会の紹介 知事ファイル 先進政策バンク 先進政策創造会議 活動 研究 資料 都道府県情報

ホーム> 活動 研究 資料> 全国知事会の活動> 農林水産・商工労働・地域経済> 平成31年度・令和元年度> 令和元年06月07日 「外国人材の受入れ・共生に向けた提言」を要請しました

平成31年度・令和元年度

- 令和2年03月06日 [新型コロナウイルス感染症対策に係る緊急提言について](#)
- 令和2年03月05日 [新型コロナウイルス感染症対策に係る緊急提言について](#)
- 令和元年12月26日 [「家畜伝染病予防法改正の主要論点に関する申入れ」について](#)
- 令和元年11月27日 [「総合的C S F対策の確立に向けた提言」の要請について](#)
- 令和元年11月27日 [自由民主党「農林・食料戦略調査会、農林部会、畜産・酪農対策委員会合同会議」への出席について](#)
- 令和元年11月22日 [「C S F対策プロジェクトチーム会議」の開催について](#)
- 令和元年10月09日 [「日米貿易協定に係る緊急提言」について](#)
- 令和元年08月28日 [「就職氷河期世代の活躍支援](#)

令和元年06月07日 「外国人材の受入れ・共生に向けた提言」を要請しました

6月7日（金曜日）、大村 新たな外国人材の受入れプロジェクトチームリーダー（愛知県知事）が、6月6日（木曜日）に開催した同プロジェクトチーム会議で取りまとめた「外国人材の受入れ・共生に向けた提言」について、杉田内閣官房副長官、山下法務大臣、中村文部科学大臣政務官に要請活動を行いました。



杉田内閣官房副長官への要請

プロジェクトチームは、2019年6月
「外国人材の受入れ・共生に向けた提言」をまとめた。

2020年6月 全国知事会議で「外国人材の受入れ・共生に向けた提言」を取りまとめ、文部科学副大臣、法務大臣、厚生労働審議官、内閣官房副長官（事務）秘書官に要請活動を実施した。

<http://www.nga.gr.jp/data/activity/norinsuisan/reiwa2nendo/1594791431498.html>

プ レ 公 示

2020 年 8 月 4 日

独立行政法人国際協力機構
中部センター 契約担当役 所長

「中部 4 県における外国人材の現状・課題等に関する調査」に係る公示を、下記の通り 8 月中旬に予定しています。

公示資料は以下のサイトに掲載予定です。

<https://www.jica.go.jp/chotatsu/domestic/koji2020.html#chubu>

記

1. 業務名：中部 4 県における外国人材の現状・課題等に関する調査
2. 公示予定日：2020 年 8 月中旬
3. 選定方法：プロポーザル提出による企画競争
4. 業務期間(予定)：2020 年 10 月上旬～2021 年 3 月中旬
(内、2021 年 1 月上旬から約 2 か月間をパイロット
プロジェクト実施期間として想定)
5. 業務の背景、目的：
少子高齢化を背景に 2019 年の入管法改正等、外国人材受入が拡大する中、技能実習生や日系人等を中心に労働面、生活面、子弟の教育面などから様々な課題が指摘されている。JICA は外国人材に係る課題解決及び活用に貢献することが期待されているが、中部 4 県（静岡県、岐阜県、愛知県、三重県）における外国人材の現状・課題などを十分に把握できていない。更にコロナ禍の拡大、長期化に伴い、外国人材を取り巻く新たな課題も生じてきている。
これらの課題解決に資する JICA の支援事業を検討するために、これまでの他地域での類似調査結果を参考に、中部 4 県における外国人材に関する現状を把握し、課題等のレビューを行い、これら課題の解決に取り組む、あるいは取り組もうとしている団体（自治体、法人、企業、NGO/NPO 等）

JICA中部では「中部4県における外国人材の現状・課題等に関する調査」を実施中

【業務の目的】少子高齢化を背景に 2019 年の入管法改正等、外国人材受入が拡大する中、技能実習生や日系人等を中心に労働面、生活面、子弟の教育面などから様々な課題が指摘されている。JICA は外国人材に係る課題解決及び活用に貢献することが期待されているが、中部 4 県（静岡県、岐阜県、愛知県、三重県）における外国人材の現状・課題などを十分に把握できていない。更にコロナ禍の拡大、長期化に伴い、外国人材を取り巻く新たな課題も生じてきている。これらのことから、既存制度にとらわれずに JICA の支援・貢献メニューを検討するために、これまでの他地域での類似調査結果を参考に、中部 4 県における外国人材に関する現状を把握し、課題等のレビューを行い、これら課題の解決に取り組む、あるいは取り組むポテンシャルのある団体等を抽出し、これらの中から具体的な JICA との各種連携案件を形成することを目的に本調査を実施する。

2021年8月末をめどに最終報告取りまとめ予定

現在位置：
 [トップページ](#)
>
[報道発表資料](#)
>
[2019年6月（報道発表資料）](#)
>
[報道発表資料](#)
豊田市とインドネシア・バンドン市が連携「スマートシティの計
 の締結について

報道発表資料 豊田市とインドネシア・バンドン市が連携「スマー 計画に向けた連携に関する覚書」の締結について

[ツイート](#)
[シェア 0](#)

ページ番号1031907
 報道発

持続可能なスマートシティを目指し、平成29年3月に締結した、両市の課題解決に協力し合う旨の基本合意書に基づき
 を記載した覚書を両市で締結するため、バンドン市長及びバンドン市政府代表が豊田市へ来訪します。
 今後は、基本合意書で取り決めた7分野のうち「社会福祉」分野で介護技能実習生等の受け入れを進めていく予定です。

現在位置：
 [トップページ](#)
>
[今日の写真](#)
>
[2019年11月 今日の写真](#)
>
 インドネシアからの初の介護技能実習生が市長を訪問しました

インドネシアからの初の介護技能実習生が市長を訪問しました

[ツイート](#)
[シェア 62](#)
[LINEで](#)

ページ番号1035361
 更新日 2019年11月25日
  印刷



2019年11月25日（月曜日）、インドネシアからの初の介護技能実習生として、豊田市の介護サービス事業者（株式会社豊田ほっとかん）で技能実習を行っているハエルンニサさんとハルタティさんが市長を訪問しました。

2人は10月に来日し、1か月間の国内での入国後講習を終え、豊田市にやってきました。同介護サービス事業者において、3年間技能実習を行う予定です。

この日は、市長から歓迎の挨拶とともに、市内の観光名所などの説明を受けました。

太田市長は、「インドネシアからはるばるお越し下さり、ありがとうございます。是非、実習以外でも、豊田市や日本のことを知ってもらい、好きになってほしいです。頑張ってください。

「ずっと働きたい」 愛知県豊田市 特定技能、元実習先の会社へ



元技能実習生のインドネシア人2名が元実習先の自動車部品の製造業者「明和工業」（豊田市）で働くため、特定技能のビザで来日。2人は2012～15年に同社で実習した後に帰国、同社関連会社から特定技能の再来日で声がかかった。（中略）給与は、技能実習の時に比べて月給が約1割増。年2回の賞与もある。作業工程全体を見るような責任のある仕事も任せられるようになった。特定技能は転職可能な制度だが、2人は「（同社で）ずっと働きたい。いい会社だから」と口をそろえる。（中略）

同社は約15年前から、インドネシア人実習生を受け入れてきた。特定技能の受け入れは、現場のニーズを受けて導入。特定技能の採用で声を掛けたのは、部長、課長らから推薦のあった元実習生たち。同社の杉浦義忠社長（38）は「実習生で頑張った人にまた来てもらいたい。彼らがリーダーになり、5年、10年と働き続けてほしい。一生懸命に働いてもらい、サクセスストーリーができればいい」と期待する。技能実習の受け入れも続けたい考えだ。

高浜市

Trading care

共に生きる 共に働く

インドネシアからの技能実習生を受け入れる監理団体

Trading care
共に生きる 共に働く

HOME なぜ今、外国人材か 事業内容 法人概要 ブログ フォトギャラリー 無料相談

ここはたくさんの人が集う場所

子どもも年配の人も、お父さんもお母さんも、
いろいろな国の人も。みんなで集まって、ごはんを囲んで、笑い集う。



移民、難民が急増したベルギー・メヘレン市が取り入れ、
効果を上げたことでも知られる「バディ制度」。

今日から私も

バディさん

バディさんって何？ 知って、分かって、レッツ・チャレンジ
ここからはじまる 次世代のスタンダード



地域で暮らす外国人の人の相棒になろう！

Trading care
共に生きる 共に働く



<https://www.jica.go.jp/chubu/topics/2020/ku57pq00000mbsyv-att/ku57pq00000mbszn.pdf>

企画・協力 JICA



密着！技能実習生を支える「バディ制度」

ツイートする

シェアする

2020年12月25日 18:17

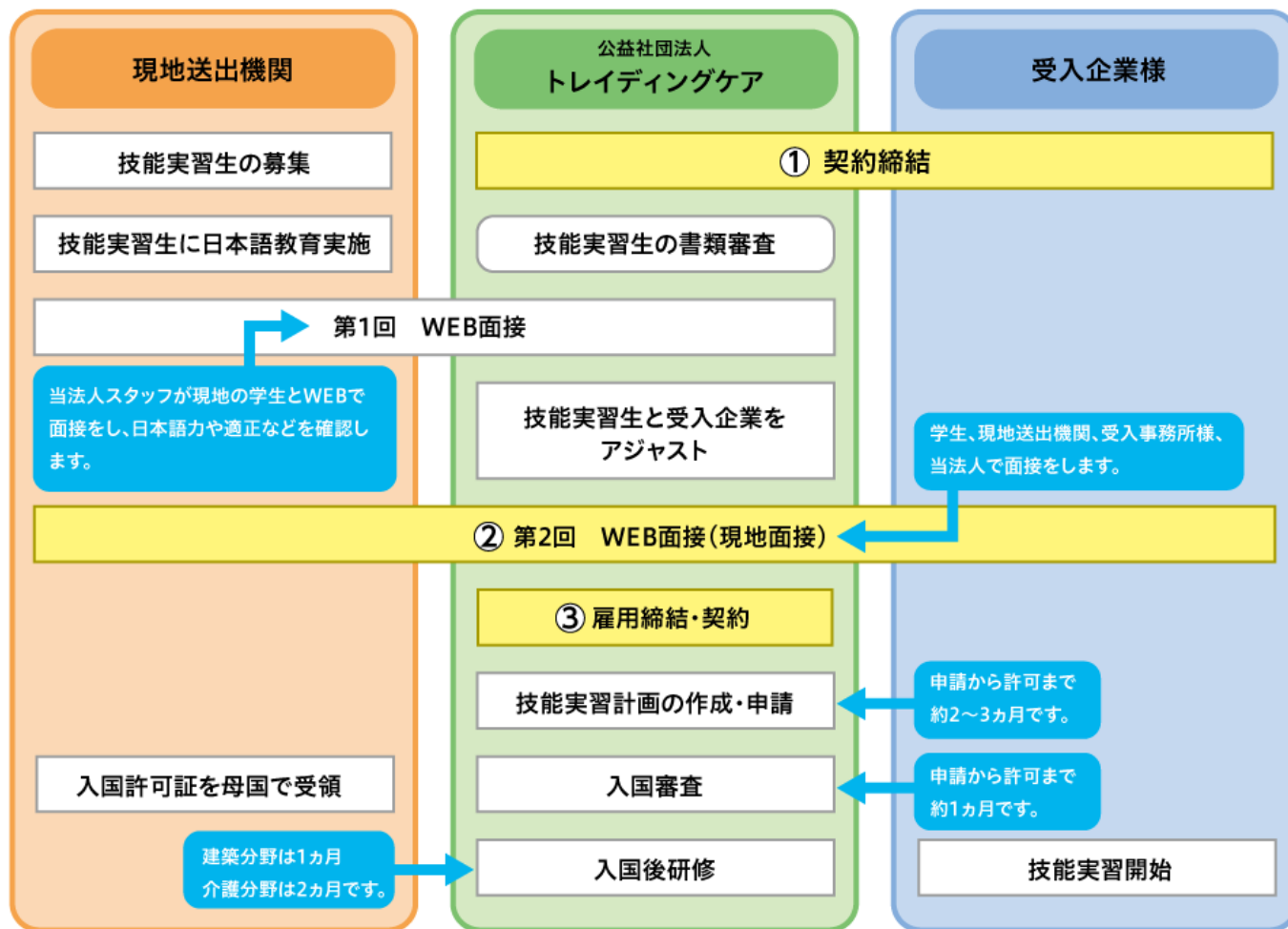




➡ 代表理事（新美純子）紹介

- 1970年愛知県高浜市で誕生
- 1993年半田常滑看護学校を卒業し、看護師として働く。
- 2008年より看護教員として働く。（弥富看護学校、半田常滑看護専門学校）
- 2012年名古屋大学文学研究科へ社会人入学をする。日本に在住するインドネシア人の増加に伴う医療・福祉分野における人材のグローバル化と越境労働（名古屋大学修士論文提出）
- 2013年3月医療現場における人材のグローバル化と越境労働（名古屋大学修士論文提出）
- 2015年頃日本の医療・福祉現場から外国人人材との共生についての講師を行う。
- 2018年10月～公益社団法人 트레이ディングケア常勤管理者（2018年12月26日までは一般社団法人）

トレーディングケアマッチングシステム



さまざまな支援

人々のつながりを築く ～ NPOまなびや@KYUBAN

港区にある九番団地にはおよそ300世帯もの外国人が暮らしています。NPOまなびや@KYUBAN(名古屋市港区)は、ここで2か月に一度、住民に対し健康チェックを行っていました。感染が拡大する4月、健康チェックに代えて食料配布とアンケート調査を始めました。どこに困っている人がいるか、どんなことに困っているのかを把握し、さらに支援を求める人には、詳しく聞き取り、解決策と一緒に考えました。卵や食料を渡す際には、農林水産省の「花いっぱいプロジェクト」*の輪のカーネーションを添えました。食料を受け取りに来る人たちに「恥ずかしい」という気持ちにさせず、尊敬を守りながら必要な支援を届ける、こうした配慮により今では日本人高齢者や外国人など約60名が毎回来るようになり、お互い顔見知りになりました。

また4月中旬には、団地内に困りごとを書いて投函できるポストを設置したとえば「マスクがない」という声に応え、玄関のドア越しにマスクを届けました。あわせて、集会場に掲示板を設け、国の支援策や相談窓口のほか、近所のスーパーの営業状況などの、有益な情報

を張り出したところ、情報を求めて掲示板を見に来る人が増えています。

このほか、休業要請により、厳しい状況を強いられ団地周辺の飲食店を1軒1軒回り、持続化給付金などの事業者向け支援策を伝え、申請のサポートをしました。外国人だけで経営する飲食店では、こうした支援策を知らず、申請できなかったところがたくさんあります。代表の川口祐有子さんは「こんな時だからこそ、人と人のつながりを築き、信頼関係を強め、支え合わなければならない。そうしたつながりにより、強くなやかな地域を住民とともに育てていきたい」と話します。



*花いっぱいプロジェクト：新型コロナウイルスの影響で需要が減少している花きの消費拡大を図るために農林水産省が実施したプロジェクト

NPOまなびや@KYUBANが、5月下旬から1か月はど開催した特別定額給付金申請書の記入方法と生活についての相談会に、NICも協力しました。

フィリピン人の女性は、自宅に届いた国民年金の振込用紙を持って、「これは何か」と相談にやってきました。書類の内容を一通り説明した後で、本人宛に送ら

れてきたものではないことに気が付きました。どうやら前の住居者宛に届いたものだったようです。その場は大変驚いたのですが、カタカナが読めないこと、他人の名前が書かれていることにすら気づけないという現実を目の当たりにしました。



特集

対 等な立場で楽しく過ごせる居場所を ～ 徳林寺

徳林寺(名古屋市天白区)は、新型コロナウイルス感染症の影響で飛行機が飛ばず、帰国できなくなったベトナム人を受け入れています。多い時で50名を超える人たちが寝食を共にしています。在東海ベトナム人協会(名古屋市名東区)が、仕事や住場所を失っている在留ベトナム人たちをSNSで集め、同協会からの依頼に快く応じた徳林寺での受け入れが実現しました。不安な日々を過ごす彼らの精神的ケアも大切に、週に1回のボランティア医師と看護師による健康チェックは、ストレスの軽減に大きな役割を果たしています。

住職の高岡秀徳さんは、ネパールに15年ほど滞在した経験があり、今でもネパールとの交流を続けています。その縁で、30年ほど前から、難民申請中の人や仏教を学ぶ留学生、日本人のホームレスなどに対して、居場所として「みんなの家」を開放してきました。「みんなの家」は誰にでも開かれた場所で、地域の人々や教会、ボランティア

グループ、NPOなどと多様なつながりが生まれています。

「お世話する、支援するということではなく、ここに来たら誰でも対等な立場、一緒にいることが楽しい。大切なのは『今いる場所を楽しめる』ということ。いろいろな企画をしていくと縁が生まれる。彼らがいい縁を作ってくれた。私が彼らを助けたのではなく、彼らに助けられているのです」と高岡住職は話します。お寺を中心に、さまざまな人が集い、交流し、助け合う。無事に帰国した後も彼らはきっと徳林寺での生活を忘れることはないでしょう。



命をつなぐために ～ カトリック南山教会

カトリック南山教会(名古屋市昭和区)には、仕事やアルバイトがなくなり、深刻な生活困窮に陥った人々から多くの相談が寄せられました。「とにかく彼らの命をつなぐなければ」と、南区生活協同組合(本部:名古屋市緑区)などの協力により集まった食料を箱に詰めて届ける活動を始めました。

Facebookで呼びかけたところ、ベトナム人を中心に、日系ブラジル人、タイ人、インドネシア人など多くの人から支援を求める声が上がりました。1つの箱の中には、米5kg、砂糖1kg、調理油1L、カップラーメンなどどれも平等に



するように同じものを詰めていきます。そして最後に、相手の名前を見ても、ベトナム人であれば、ベトナムの調味料を、それ以外の国の方には、他の調味料を追加します。顔は見えませんが、相手の想いを持ち込めて作業を続けました。これまでに1,000人以上に食料を届けました。

活動の中心人物である同教会ベトナム司祭のグエン・タン・ヒ神父は、「困っている人を助けるのに理由はありません。私たちが送っているものは、たいしたものではありません。でも、支援に協力してくれた人たちの心も一緒に箱に詰めて届けています」と静かに語ります。

今後も感染の状況を見て、臨機応変に困っている人への支援を続けていく予定です。

向 き合う ～ THIRD PLACE

飲食業で働くネパール人留学生たちが、休業要請により仕事が減り、生活に困り始めた4月末ごろ、三田村幸雄さんが経営するレストラン「THIRD PLACE」(名古屋市中区)では、ランチの無料提供に踏み切りました。土日は店の前での炊き出しも始め、国籍問わず、来る



人みんなにネパール料理を振る舞いました。食べものに困った日本人も含め50名ほどが料理を受け取りました。寄贈してもらった食材をそのまま配れば、調理のための光熱費はかかりません。しかしそうしなかったのは、日本での生活が長くはないネパール人留学生たちに、日本の食材をそのまま配ってもあまり役立ててもらえないということを知っていたから。また、本当に必要なものをしか施しを受けないという彼らのプライドを尊重するた

めにも、彼らに受け取ってもらえるように集まった食材を調理して配ることにしました。

三田村さんは、彼らに日本で働く上で求められる、時間を守ることや身体を清潔に保つことなどをきちんと伝えることが必要だと考えています。彼らが損をしないように、共同生活の中でそうした習慣を身に付け、日本での生活をよりよいものにできるよう、寮を運営しています。時には厳しく注意することもあります。アルバイト先の店長や就職先の上司の信頼を失わないように、心を鬼にして嫌われ役を買って出ます。給付金などの申請を手伝いながら、もらったお金はすぐに使わず、いざという時のために貯めておくことも口うるさく伝えました。ネパール人留学生たちとことごとく向き合い、彼らのいい面も悪い面もよく知る三田村さんは、「彼らの中では、何か悪いことをしている人に対して「三田村さんに言うよ」が決まり文句になっているようです」と笑います。

労働者としての権利を学ぶ ～ Aichi Migrants Workers

感染症拡大の影響を受け、外国人の雇用環境は悪化しています。ロサナ タビルさん(フィリピン出身)は、労働者を保護するための法律や制度を知らないまま、弱い立場で働く外国人労働者のために、6月末、「Aichi Migrants Workers=AMW」を立ち上げました。有給休暇や労災のことを知らず、雇用主に言われるがまま、泣き寝入りした人をたくさん見てきました。そんな人たちに代わり、労働基準監督署や派遣会社と掛け合ったり、労働法に詳しいメンバーから、労働者の権利を学ぶオリエンテーションを開催したりしています。AMWに相談を寄せる人たちは、フィリピンを中心に、中国やパキスタン、ブラジルなど国籍もさまざまです。

実は、ロサナさん自身もコロナ禍で解雇にあい、求職活動のためハローワークに通っています。自身が大変な状況にもかかわらず、そこで出会った外国人たちに、国や自治体の支援策について積極的に伝えたり、悩みを聞いたりしています。彼女を突き動かしているのは、

フィリピンの「Bayanihan(バヤニハン)=助け合い」精神と、自分自身が来日後に日本語や法律の壁にぶつかった経験です。苦勞をしたからこそ困っている人の気持ちがわかる、勉強して得た日本語能力と法律の知識を人のために役立てたい、と強く思っているからです。

「日本に暮らす多くの外国人が悩んでいる。仕事が減り、大変な生活を強いられているから。でも私たちの一番大きな悩みは、収入が減ると母国に離れて暮らす家族を助けられないこと。心配でたまらない」自身が苦しむ生活の中でも、なおも家族を想い、助けられないことに苦悩する彼女たちの現実がありました。



特集

連携へ ～ あいち新型コロナ関連情報共有グループ(AICO-19)

4月末、愛知県内の外国人への感染症の影響について情報交換するため、愛知県や名古屋市、県内の外国人支援団体によるオンライン会議が行われ、NICも参加しました。会議後は参加団体とSNSを通じて、国や自治体、各地域の動きを情報共有し、外国人に向けて最新の情報を提供できるよう努めています。参加団体から「〇〇団地で食料配布をしている団体を教えてください」、「〇〇の多言語翻訳はありますか?」などの問いかけに対し、情

報を持っている人たちがすぐに反応し、有意義な情報共有が実現しています。こうした支援団体同士のネットワークは、迅速に問題を解決するために必要不可欠なものです。今回、臨時的に発足したグループではありますが、今後も情報を効率的に共有し、外国人相談者の悩みがスムーズに解決できるよう、このつながりを大切にしていきたいものです。



新型コロナウイルス感染症の拡大に翻弄される外国人の存在と彼らを支援する取り組みをみてきました。今回の取材を通して、さまざまなことに気づきました。

▶ 同胞の人たちのために必要な情報の翻訳や、通訳、生活

●●● 今後に向けて ●●●

国や自治体から出された情報に対して、複数か所が翻訳をする必要はなく、すでにあるものは共有し、ないものを手分けして作業すれば、より迅速に多くの情報が多言語化できます。そのためには情報をコーディネートする役割と仕組みづくりが必要で、そして、多言語化された情

名古屋国際センター

NAGOYA INTERNATIONAL CENTER

上掲の取材や記事に必要と認められる場合は、関係者に取材の目的や内容を説明し、同意を得た上で、その旨を記載することとします。

とも見切りをつけて他の国へ移ってしまうのか、今後の対応にかかっています。

(2020年8月取材)



あいち「見える化」ウェブ

あいちの地域課題を知る。
その解決に挑むNPOがわかる。

本サイトでは、公益財団法人あいちコミュニティ財団の助成先が解決に挑んでいる「地域課題」と「その解決策」を紹介しています。

- あいち「見える化」ウェブとは？
- あいちの地域課題を知る
- 解決に挑むNPOを見つける
- 解決策に参加する
- お問い合わせ

多文化共生



愛知県の技能実習生の数

24,495人

2016年末現在全国1位

今後、その人数は一層増加すると予想されています。

(法務省 在留外国人統計(旧登録外国人統計)統計表)

愛知県の技能実習生の数 24,495人(全国1位)

課題いろいろ

- ▶ 愛知県民の21%が在住する西三河地域に、「行動援護」事業所数はたった7%
- ▶ 通常学級に在籍する児童生徒のうち、発達障がいやその可能性がある児童生徒のなかで、学習面で著しい困難を示す児童生徒は4.5%
- ▶ 2016年の愛知県刑法犯少年2,349人
- ▶ 母親が18時までに帰宅していない家庭 小5で19.6%
- ▶ 求職活動期間2年以上 42,000人 求職者数のうち16.2%
- ▶ 森岡台団地の高齢化率39.8% 一人暮らし

この課題に取り組んでいる団体

▶▶ 多文化市民メディアDiVE.tv放送局

～あいちの地域課題を知る。
その解決に挑むNPOがわかる。～

NPOの信頼性を高めるために、愛知県内のさまざまな地域課題を知り、その解決に挑むNPOへの寄付を促すWebサイト【あいち「見える化」ウェブ】。

トップ > 全国のニュース > 暮らし・話題 > 外国人実習生の生活支援を

外国人実習生の生活支援を

愛知の労組、コロナで帰国できず

2020/7

記事を保存



記者会見する（左から）愛知県労働組合総連合の顧問樽松佐一さん、中国人技能実習生の劉震さんら＝12日、名古屋市

愛知県労働組合総連合（愛労連）は12日、名古屋市で記者会見し、新型コロナウイルス感染拡大で中国人技能実習生24人が実習期間終了後も2カ月以上帰国できずにいると明らかにした。実習生らが経済的に困難な状況にあるとして、実習先などが帰国するまで雇用や生活面を支援すべきだと訴えた。

労働相談

相談無料・秘密厳守
0120-378-060

- 愛労連紹介
- トピックス
- 大会
- 愛労連新聞
- オピニオン
- 方針・政策
- みんなの力で（共闘）
- あなたの力を（署名）
- 日程
- 青年協議会
- 女性協議会
- パート臨時労組連絡会
- 加盟組合専用

愛労連ブログ新着情報

- 【外国人実習生支援】 [帰国して2年でもあきらめないサンコウ事業協同組合事件。](#) (2021/02/22)
- 【外国人実習生支援】 [コロナで帰国できない実習生、解雇された実習生などの相談](#) (2021/01/26)
- 【外国人実習生支援】 [サンコウ事業協同組合の不正の事実が消せない](#) (2021/01/23)
- 【外国人実習生支援】 [荷物を持って出ていけ！](#) (2021/01/11)
- 【外国人実習生支援】 [特定活動の元実習生はだれが保護するのか？](#) (2021/01/11)
- 【外国人実習生支援】 [サンコウ事業協同組合（旧鑽幸アパレル協同組合）の不正を許すな!!!](#) (2020/12/29)
- 【愛労連（ブログ）】 [コロナ相談会](#) (2020/12/21)
- 【外国人実習生支援】 [外国人労働相談のポイント](#) (2020/12/11)
- 【愛労連（ブログ）】 [医療・介護従事者に支援を呼びかけ](#) (2020/11/06)
- 【愛労連（ブログ）】 [11月5日に名古屋裁判判決](#) (2020/11/03)
- 【外国人実習生支援】 [新しい実習先へ](#) (2020/11/03)

コロナで仕事失い帰国も出来ず…居場所なくしたベトナム人の『駆け込み寺』元技能実習生や留学生のイマ

9月 22日



厚生労働省の調査では、2019年10月時点で日本では約40万1326人のベトナム人が働いていますが、新型コロナウイルスの影響で仕事を失った人も多くいます。こうして居場所をなくしたベトナム人の駆け込み寺が名古屋にあります。

■新型コロナウイルスの影響で職を失ったベトナム人の駆け込み寺

名古屋市天白区の 曹洞宗徳林寺

新型コロナウイルスの影響で、仕事を失った50人のベトナム人が共同生活をしている。

主に元技能実習生。

徳林寺の住職・高岡秀暢さんは、以前ベトナムから僧侶や留学生を預かっていた縁で、今回、帰れなくなった人たちを受け入れることにした。

中日新聞

【社会】「移民」元年 結核 在留外国人の患者増 感染知らず来日 言葉の壁で重症化

2019/09/17

留学生・実習生 体酷使で拡大か「強制送還される」誤解も

アジア出身の技能実習生や留学生が結核の感染に気付かないまま来日し、実習先の企業などで発病するケースが増えている。在留外国人が東京に次いで多い愛知県では、健康診断で発病の兆候を指摘されても、仕事を失うことへの不安や言葉の壁などで精密検査を受けなかった人もいる。今年4月に施行された改正入管難民法で外国人労働者が今後も増えることを見据え、保健所などは対策を急いでいる。（安藤孝憲、谷悠己）

愛知県内で2018年に結核と診断された新規の患者は1126人。医療や生活水準の向上などで長期的に減少傾向にあり、最近の統計では11年の1526人から3割近く減っている。ところが、外国人に限ると増加が続き、昨年は新規患者が184人。全患者に占める割合は16・3%で、いずれも過去最多だった。

新型コロナ感染症の前から感染症の問題はあった…